

* HIMAC でのビーム試験

- * 7/9(Sat) : 荷物 東北大→
- * 7/10(Sun) : 理研で、HPC 1 8 本、FDC2 架台部品をおろす : RIBF 棟 1F に仮置。
検出器類→ HIMAC 着

* 大津、松田、高橋、宮崎、小林

* 7/12(Tue)-7/15(Fri) 4 晩 Ar, Kr ビームからの 2 次ビームによる試験

- * BDC, FDC1
- * TED
- * KDC (PDCP)

* 荷物 : 7/17(Sun) 放医研 → 7/18(Mon) 東北大

* BDC, FDC1 の preliminary な結果

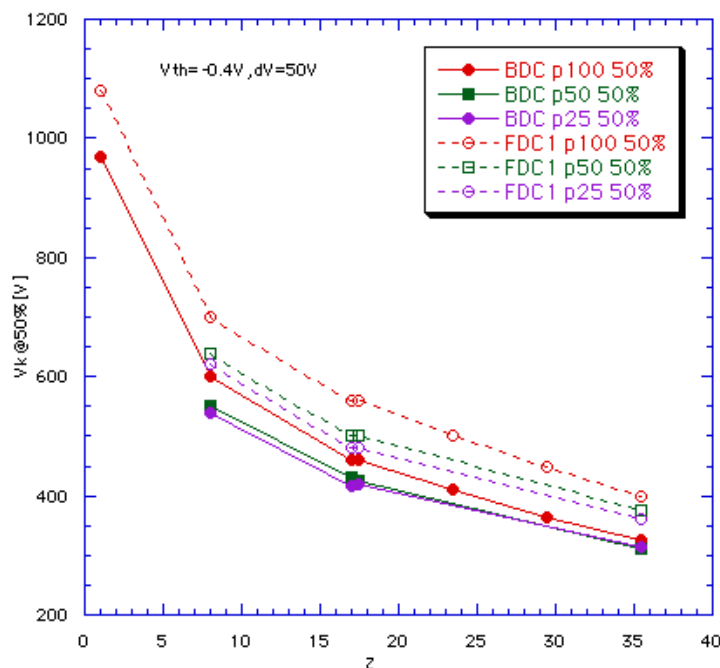
* Cf: ベンチテストでは、圧力 100 torr で BDC, FDC1 とも MIP (β , μ) に対しプラトーを持つ (前回の報告)。

* 測定条件

- * 読出 : BDC (16ch x8, 全 ch), FDC1 (16ch x14, 全 ch の半分)
- * ガス : $i\text{-C}_4\text{H}_{10}$, P = 25, 50, 100 torr
- * 粒子 : Z = 8-17, 17-36 @~250MeV/A
- * $V_{th} = -0.4V, -0.8V$
- * V_p, V_k は 50V 差でのデータが主。比較データも有。

* HV プラトー

- * 測定した範囲では全てプラトーを持つ
- * 決定精度の良い $\varepsilon = 50\%$ のカソード電圧 (プラトーは約 100V 上)



* z=8 から 36 までの大体の設定電圧は予想可能

* 注 : $dE(z=1 @250MeV) \sim 2 \times dE(MIP)$

* 最初の 3 実験は検出粒子が z = 5 - 10 なので、z=5 に対する最適圧力/高電

圧は 25, 50 torr では不明？ 真空窓をなるべく薄くする為に可能なかぎり低圧力で使いたいので、25, 50 torr でどこまで高電圧がかかるか試験する予定。

- * (余裕がないので、後期は HIMAC での試験を行わない)
- * 位置分解能の解析はこれから

* TED

- * 前回問題だった、結晶-optical coupling(EJ)-PMT 間の泡(空気)問題を解決後、
- * 最終確認として、UV, non-UV 窓 PMT の比較
 - * 以前の結論同様、質量分離 (エネルギー分解能) には殆ど差が無い：理由？。
 - * 結果的には購入済の non-UV-PMT の選択で間違っていない。

* FDC2

- * 7/12(Tue)に工場でワイヤー張終了後の移動準備
 - * 時期ははっきりしないが、作業後 field wire が 1 本切れていたのので張り替えた
- * 7/22(Fri)に理研に搬入。 ガス漏試験、配線、信号試験後引き渡し。
 - * 場所： K4
- * 7/25(Mon)-7/29(Fri)に FDC2 架台を組み立てる。
 - * 千賀、高橋、増子、小林
 - * 場所： E16 (組み立て後の移動時期？)

* PDCP

- * 4 種類の読出試験 (analog_fast 独立、電荷分割、analog_slow_独立、digital 独立)の準備中
 - * KDC 3 台 (reference)、PDCP 1 台

* HPC

- * 理研に搬入済： 18 本
- * 運送時の問題がないか、再度試験をする予定
 - * 場所？ 移動方法？